

「子どもたちの成長に寄り添い、保護者が安心して働き続けることができるために・・・」

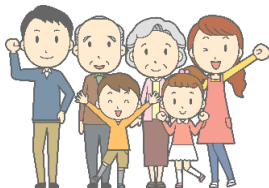
新BOP学童クラブの公共性と専門性を考えるつどい

世田谷区では、長年にわたり学童クラブ事業を公設公営で担ってきました。今、区議会の特定会派から、民間に委託した方がよいという意見が強まっています。区の支出削減や利便性が根拠になっているようです。

しかし、コストや効率化優先は、質の低下につながっていくのではないのでしょうか。運営は「人」です。子どもと保護者へのきめ細やかな支援の取り組みは、安定した雇用によりベテランから若手へ継承されてきました。担い手の人材を確保し育てることが、経験を生かした放課後児童健全育成につながるのではないのでしょうか。

新BOP学童クラブは定員を撤廃しました。待機児童が出ないため、これまで問題点が浮き彫りになることはありませんでしたが、一番の問題は、上限がないため、大規模化に歯止めがかからないことです。200名を超える学童クラブも出現し、何とか職員の工夫と努力で運営を行ってきています。そして現場では、安全・安心だけでなくさらに子どもたちの豊かな放課後を取り戻すために、この大規模化の解消、運営スペースの確保をめざし、担当課である児童課と解決の方向性を探っているところです。

新BOP学童クラブのあり方に関心のある多くの方々への参加をお待ちしています。



★日時:2022年 1月17日(月)

午後6時30分～8時15分(開場:午後6時)

★場所:産業プラザ3階 大会議室

住所:世田谷区太子堂2-16-7 三軒茶屋分庁舎

★内容

- 「考えるつどい」をもつまでの経過(主催者)
- 現場の職員からの発言①
- 現場の職員からの発言②
- 保護者の立場からの発言
- フロアーからの発言・質疑応答・意見交換



※感染防止対策のため、マスク着用をお願いします。

主催:新しいせたがやをすすめる会

※お問い合わせ:bcb04037@nifty.com

電話:世田谷地区労(3428-1234)、世田谷区労連(3418-3341)